

(36) レタス

病害虫	防除法	参考事項														
<p>菌核病</p>	<p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 宿主植物の連作及び輪作を避ける。 2 苗を介したほ場への持込みを防ぐため、苗床での薬剤散布を実施する。 3 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 4 雨よけ栽培を行う。 5 施設やトンネル栽培では、低温・多湿にならないよう、換気に留意する。 6 マルチ栽培を行い、子のう胞子の飛散を抑制する。 7 施設栽培においては、紫外線除去フィルムを使用する。 8 夏季に湛水処理を行う。 9 栽培終了後は、発病株や作物残さをほ場に残さず、速やかに適切に処分する。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発病株は菌核が形成される前に速やかに除去し、ほ場内に放置せず適切に処分する。 2 発生予察情報、ほ場の見回り等に基づき、適期に薬剤散布等を実施する。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発病初期に下記薬剤のいずれかを株元に散布する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>アフェットフロアブル</td></tr> <tr><td>アミスター20フロアブル</td></tr> <tr><td>カンタスドライフロアブル</td></tr> <tr><td>ゲッター水和剤</td></tr> <tr><td>スクレアフロアブル</td></tr> <tr><td>スミブレンド水和剤</td></tr> <tr><td>トップジンM水和剤</td></tr> <tr><td>バレード20フロアブル</td></tr> <tr><td>ファンタジスタ顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>ポリオキシシンAL水溶剤</td></tr> <tr><td>メジャーフロアブル</td></tr> <tr><td>ロブドー水和剤</td></tr> <tr><td>ロブラール水和剤</td></tr> </tbody> </table>	薬剤名	アフェットフロアブル	アミスター20フロアブル	カンタスドライフロアブル	ゲッター水和剤	スクレアフロアブル	スミブレンド水和剤	トップジンM水和剤	バレード20フロアブル	ファンタジスタ顆粒水和剤	ポリオキシシンAL水溶剤	メジャーフロアブル	ロブドー水和剤	ロブラール水和剤	
薬剤名																
アフェットフロアブル																
アミスター20フロアブル																
カンタスドライフロアブル																
ゲッター水和剤																
スクレアフロアブル																
スミブレンド水和剤																
トップジンM水和剤																
バレード20フロアブル																
ファンタジスタ顆粒水和剤																
ポリオキシシンAL水溶剤																
メジャーフロアブル																
ロブドー水和剤																
ロブラール水和剤																

病害虫	防除法	参考事項
<p>すそ枯病</p>	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <p>1 温度・湿度を上げないようにトンネルを換気する。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 フロンサイドSCを全面散布土壌混和する。</p> <p>2 発病初期に下記薬剤のいずれかを株元を中心に 10～14 日おきに散布する。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>アフェットフロアブル</p> <p>アミスター20フロアブル</p> <p>ジオゼット水和剤</p> <p>ダコニール1000</p> <p>トップジンM水和剤</p> <p>バシタック水和剤75</p> <p>バリダシン液剤5</p> <p>パレード20フロアブル</p> <p>メジャーフロアブル</p> <p>モンカットフロアブル40</p> <p>リゾレックス水和剤</p>	
<p>灰色かび病</p>	<p>(予防に関する措置)</p> <p>1 多湿条件下で発生しやすいことから、密植栽培を避け、温度・湿度を上げないようにトンネルを換気する。降雨等で地下水位が例年より高いほ場では、特に注意する。</p> <p>2 株間の湿度低下のため、畝内や株元の除草に努める。</p> <p>3 傷口が早く乾くよう、収穫作業は晴天が続く時に行う。</p> <p>(判断、防除に関する措置)</p> <p>1 病斑部は伝染源となることから、速やかに除去し、ほ場外で適切に処分する。</p> <p>2 発生予察情報、ほ場の見回り等に基づき、適期に薬剤散布等を実施する。</p> <p>3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。</p> <p>4 作物残さを適切に処分する。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>アフェットフロアブル</p> <p>アミスター20フロアブル</p> <p>カンタスドライフロアブル</p> <p>ゲッター水和剤</p> <p>スミブレンド水和剤</p> <p>スミレックス水和剤</p> <p>ダコニール1000</p> <p>ハーモメイト水溶剤</p> <p>パレード20フロアブル</p> <p>ファンタジスタ顆粒水和剤</p> <p>ベルコート水和剤</p> <p>ロブラール水和剤</p>	<p>○ 多発地では散布開始時期を早くする。</p>

病害虫	防除法	参考事項
べと病	<p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <p>1 発病初期から下記薬剤のいずれかを散布する。</p> <p style="text-align: center;"><u>薬剤名</u></p> <hr/> <p>アミスター20フロアブル</p> <hr/> <p>キノンドー水和剤40</p> <hr/> <p>ザンプロDMフロアブル</p> <hr/> <p>ゾーベック エンテクタSE</p> <hr/> <p>ダコニール1000</p> <hr/> <p>ピシロックフロアブル</p> <hr/> <p>フェスティバルC水和剤</p> <hr/> <p>フォリオゴールド</p> <hr/> <p>プレビクールN液剤</p> <hr/> <p>メジャーフロアブル</p> <hr/> <p>ヨネボン水和剤</p> <hr/> <p>ライメイフロアブル</p> <hr/> <p>ランマンフロアブル</p> <hr/> <p>レーバスフロアブル</p> <hr/>	

病害虫	防除法	参考事項
軟腐病、 腐敗病、 斑点細菌病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 温度・湿度を上げないようにトンネルを換気する。 2 株を傷つけないように注意する。 3 ビニールハウスの場合は、暖房をする。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報 【軟腐病】・【腐敗病】・【斑点細菌病】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 微生物殺菌剤 【軟腐病】 <hr/> 薬剤名 <hr/> マスタピース水和剤 <hr/> 【腐敗病】 <hr/> 薬剤名 <hr/> マスタピース水和剤 <hr/> 【斑点細菌病】 <hr/> 薬剤名 <hr/> マスタピース水和剤 <hr/> 2 発病ごく初期から下記薬剤のいずれかを約 10 日おきに 2～3 回散布する。 【軟腐病】 <hr/> 薬剤名 <hr/> カセット水和剤 <hr/> キノンドーフロアブル <hr/> コサイド3000 <hr/> スターナ水和剤 <hr/> ナレート水和剤 <hr/> バリダシン液剤5 <hr/> ヨネボン水和剤 <hr/> 【腐敗病】 <hr/> 薬剤名 <hr/> カスミンボルドー/銅シン水和剤 <hr/> カセット水和剤 <hr/> キノンドーフロアブル <hr/> スターナ水和剤 <hr/> ナレート水和剤 <hr/> バリダシン液剤5 <hr/> ヨネボン水和剤 <hr/> 【斑点細菌病】 <hr/> 薬剤名 <hr/> カスミンボルドー/銅シン水和剤 <hr/> カセット水和剤 <hr/> キノンドーフロアブル <hr/> コサイド3000 <hr/> スターナ水和剤 <hr/> ナレート水和剤 <hr/> ヨネボン水和剤 <hr/> 	

病害虫	防除法	参考事項
ビッグベイン病	(耕種的・物理的防除) 1 抵抗性品種を用いる。 2 定植時期を遅らせる。 (薬剤防除) 農業登録情報 1 フロンサイドSCを全面散布土壌混和する。又はフロンサイド粉剤を全面土壌混和する。 2 下記薬剤のいずれかを処理する。 <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> アミスター20フロアブル ダコニール1000 トップジンM水和剤 <hr/>	○ 土壌中の糸状菌オルピディウム菌により媒介されるウイルス病である。 ○ 多発ほ場では抵抗性品種と薬剤防除を併用する。

<p>アブラムシ類</p>	<p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 無寄生苗を使用する。 施設栽培においては、防虫ネット、紫外線除去フィルム、光反射資材によるマルチ、粘着シート等の活用により、施設内への侵入を防止する。ただし、受粉を目的としてマルハナバチを利用する場合には、紫外線除去フィルムの使用がマルハナバチの活動に影響を与えることに留意する。 有翅(し)虫の飛来を防止するため、光反射資材によるマルチ若しくはシルバーテープ又は風上方向に防風垣若しくは防風ネットを設置する。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 生物農薬(下表)を活用した防除を行う。 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 生物農薬</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">薬剤名(天敵名)</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アフィパール (コレマンアブラバチ)</td> <td>施設栽培</td> </tr> <tr> <td>コレトップ (コレマンアブラバチ)</td> <td>施設栽培</td> </tr> <tr> <td>チャバラ (チャバラアブラコバチ)</td> <td>施設栽培</td> </tr> <tr> <td>テントップ (ナミテントウ)</td> <td>施設栽培</td> </tr> <tr> <td>カメノコS (ヒメカメノコテントウ)</td> <td>施設栽培</td> </tr> <tr> <td>ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)</td> <td>施設栽培</td> </tr> <tr> <td>ブリファード水和剤 (ペキロマイセス フモソロセウス)</td> <td>ワタアブラムシでの登録</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 気門封鎖剤</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 100%;">薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>エコピタ液剤</td></tr> <tr><td>オレート液剤</td></tr> <tr><td>サフオイル乳剤</td></tr> <tr><td>サンクリスタル乳剤</td></tr> <tr><td>粘着くん液剤</td></tr> <tr><td>フーモン</td></tr> <tr><td>ムシラップ</td></tr> </tbody> </table> <p>3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 100%;">薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>エルサン乳剤</td></tr> <tr><td>オルトラン水和剤</td></tr> <tr><td>トレボン乳剤</td></tr> <tr><td>マブリック水和剤20</td></tr> <tr><td>アクタラ顆粒水溶剤</td></tr> <tr><td>アドマイヤー顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>アドマイヤーフロアブル</td></tr> <tr><td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td></tr> </tbody> </table>	薬剤名(天敵名)	備考	アフィパール (コレマンアブラバチ)	施設栽培	コレトップ (コレマンアブラバチ)	施設栽培	チャバラ (チャバラアブラコバチ)	施設栽培	テントップ (ナミテントウ)	施設栽培	カメノコS (ヒメカメノコテントウ)	施設栽培	ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)	施設栽培	ブリファード水和剤 (ペキロマイセス フモソロセウス)	ワタアブラムシでの登録	薬剤名	エコピタ液剤	オレート液剤	サフオイル乳剤	サンクリスタル乳剤	粘着くん液剤	フーモン	ムシラップ	薬剤名	エルサン乳剤	オルトラン水和剤	トレボン乳剤	マブリック水和剤20	アクタラ顆粒水溶剤	アドマイヤー顆粒水和剤	アドマイヤーフロアブル	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	<p>○ 天敵昆虫製剤、天敵微生物製剤の使用上の留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。 アブラムシ類の生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。また、アブラムシの種類と天敵の組み合わせによっては、効果が認められない場合がある。
薬剤名(天敵名)	備考																																		
アフィパール (コレマンアブラバチ)	施設栽培																																		
コレトップ (コレマンアブラバチ)	施設栽培																																		
チャバラ (チャバラアブラコバチ)	施設栽培																																		
テントップ (ナミテントウ)	施設栽培																																		
カメノコS (ヒメカメノコテントウ)	施設栽培																																		
ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)	施設栽培																																		
ブリファード水和剤 (ペキロマイセス フモソロセウス)	ワタアブラムシでの登録																																		
薬剤名																																			
エコピタ液剤																																			
オレート液剤																																			
サフオイル乳剤																																			
サンクリスタル乳剤																																			
粘着くん液剤																																			
フーモン																																			
ムシラップ																																			
薬剤名																																			
エルサン乳剤																																			
オルトラン水和剤																																			
トレボン乳剤																																			
マブリック水和剤20																																			
アクタラ顆粒水溶剤																																			
アドマイヤー顆粒水和剤																																			
アドマイヤーフロアブル																																			
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤																																			

<p>アブラムシ類</p>	<p>ダントツ水溶剤 ベストガード水溶剤 モスピラン顆粒水溶剤 ベリマークSC トランスフォームフロアブル ウララDF モベントフロアブル コルト顆粒水和剤 リーフガード顆粒水和剤 ハチハチ乳剤 アクタラ粒剤5 アドマイヤー1粒剤 スタークル/アルバリン粒剤 ダントツ粒剤 ベストガード粒剤 モスピラン粒剤 セフィーナDC</p>	
---------------	---	--

オオタバコガ

・ [共通防除の章のオオタバコガの防除の項](#)を参照する。

○ 秋どり～年内どり作型で被害が多い。

(予防に関する措置)

- 1 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。
- 2 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫ネットによる被覆を行う。
- 3 本種に対しては、防蛾用黄色蛍光灯の夜間点灯の効果が高い。これは、ハスモンヨトウやシロイチモジヨトウなど他の夜行性の蛾にも効果がある。
- 4 交信かく乱剤（下表）を活用した防除を行う。
- 5 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。

(判断、防除に関する措置)

- 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等を行う。
- 2 寄生果を見つけ次第、除去する。
- 3 食害や糞の近くには幼虫がいる可能性が高いので、発見に努め、見つけ次第捕殺する。
- 4 新芽や花蕾には卵や若齢幼虫がいることが多い。摘心した側枝や蕾はほ場外に持ち出し処分する。
- 5 BT 剤（下表）を活用した防除を行う。
- 6 作物残さを適切に処分する。
- 7 蛹化は土中で行われる。発生の多かったほ場では、ロータリーをかけたほ場を冠水することで、土中の蛹を死滅させる。

(薬剤防除) [農業登録情報](#)

- 1 交信かく乱剤

薬剤名

コナガコン
コナガコンープラス
コンフューザーV

- 2 BT 剤

薬剤名

エスマルクDF
エコマスターBT
クオークフロアブル
サブリナフロアブル
ジャックポット顆粒水和剤
チューンアップ顆粒水和剤
デルフィン顆粒水和剤
トアローフロアブルCT
フローバックDF

- 3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。なお、中齢幼虫以降になると薬剤の防除効果が著しく低下してしまうので、早期発見、早期防除に重点を置く。

薬剤名

ランネット45DF
フェニックス顆粒水和剤
ブレバゾンフロアブル5
アニキ乳剤
アフーム乳剤
スピノエース顆粒水和剤
ディアナSC
カウンター乳剤
カスケード乳剤

<p>オオタバコガ</p>	<p>ファルコンフロアブル マッチ乳剤 マトリックフロアブル アクセルフロアブル コテツフロアブル トルネードエースDF プレオフロアブル</p>	
<p>ナモグリバエ</p>	<p>(耕種的・物理的防除) 1 育苗施設では、出入口、側窓などの開口部に寒冷紗を展張する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 育苗期及び定植時に下記薬剤のいずれかを処理する。 薬剤名 アクタラ粒剤5 スタークル/アルバリン顆粒水溶剤 スピノエース顆粒水和剤 プリロツソ粒剤オメガ プレバソンフロアブル5 ベストガード粒剤 ベリマークSC モスピラン粒剤 ヨーバルフロアブル 2 本ぼでは下記薬剤のいずれかを散布する。 薬剤名 アフファーム乳剤 コテツフロアブル ダントツ水溶剤 ディアナSC パダンSG水溶剤 ハチハチ乳剤 プレバソンフロアブル5</p>	<p>○ スピノエース顆粒水和剤、プリロツソ粒剤オメガ、プレバソンフロアブル5、ベリマークSC、ヨーバルフロアブル、ディアナSC、パダンSG水溶剤はハモグリバエ類の登録である。</p>
<p>ネキリムシ類</p>	<p>(耕種的・物理的防除) 1 被害株周辺の幼虫を捕殺する。 薬剤防除 農薬登録情報 1 共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照し、クロルピクリンくん蒸剤で土壌消毒する。 2 下記薬剤のいずれかを処理する。 薬剤名 アクセルベイト カルホス粉剤 カルホス微粒剤F ガードベイトA ネキリエースK/カルモック ダイアジノン粒剤5 プレバソンフロアブル5 フォース粒剤</p>	

<p>ハスモンヨトウ</p>	<p>・ 共通防除の章のハスモンヨトウの防除の項を参照する。</p> <p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫ネットによる被覆や防蛾(が)灯(黄色灯)の夜間点灯を行う。 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 3 交信かく乱剤(下表)を活用した防除を行う。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 2 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 4 BT剤(下表)を活用した防除を行う。 5 施設栽培においては、栽培終了後に密閉処理を行う。 6 作物残さを適切に処分する。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 交信かく乱剤 <table border="1" data-bbox="359 817 742 940"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヨトウコン-H</td> </tr> <tr> <td>コンフューザーV</td> </tr> </tbody> </table> 2 BT剤 <table border="1" data-bbox="359 996 742 1243"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エコマスターBT</td> </tr> <tr> <td>クオークフロアブル</td> </tr> <tr> <td>サブリナフロアブル</td> </tr> <tr> <td>デルフィン顆粒水和剤</td> </tr> <tr> <td>フローバックDF</td> </tr> </tbody> </table> 3 若齢幼虫のうちに、以下の薬剤を散布する。 <table border="1" data-bbox="359 1299 742 1904"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エルサン乳剤</td> </tr> <tr> <td>ジェイエース水溶剤</td> </tr> <tr> <td>フェニックス顆粒水和剤</td> </tr> <tr> <td>プレバソソフロアブル5</td> </tr> <tr> <td>アニキ乳剤</td> </tr> <tr> <td>アフーム乳剤</td> </tr> <tr> <td>ディアナSC</td> </tr> <tr> <td>アタブロン乳剤</td> </tr> <tr> <td>カウンター乳剤</td> </tr> <tr> <td>カスケード乳剤</td> </tr> <tr> <td>ノーモルト乳剤</td> </tr> <tr> <td>ファルコンフロアブル</td> </tr> <tr> <td>マトリックフロアブル</td> </tr> <tr> <td>ロムダンフロアブル</td> </tr> <tr> <td>アクセルフロアブル</td> </tr> </tbody> </table> 	薬剤名	ヨトウコン-H	コンフューザーV	薬剤名	エコマスターBT	クオークフロアブル	サブリナフロアブル	デルフィン顆粒水和剤	フローバックDF	薬剤名	エルサン乳剤	ジェイエース水溶剤	フェニックス顆粒水和剤	プレバソソフロアブル5	アニキ乳剤	アフーム乳剤	ディアナSC	アタブロン乳剤	カウンター乳剤	カスケード乳剤	ノーモルト乳剤	ファルコンフロアブル	マトリックフロアブル	ロムダンフロアブル	アクセルフロアブル	
薬剤名																											
ヨトウコン-H																											
コンフューザーV																											
薬剤名																											
エコマスターBT																											
クオークフロアブル																											
サブリナフロアブル																											
デルフィン顆粒水和剤																											
フローバックDF																											
薬剤名																											
エルサン乳剤																											
ジェイエース水溶剤																											
フェニックス顆粒水和剤																											
プレバソソフロアブル5																											
アニキ乳剤																											
アフーム乳剤																											
ディアナSC																											
アタブロン乳剤																											
カウンター乳剤																											
カスケード乳剤																											
ノーモルト乳剤																											
ファルコンフロアブル																											
マトリックフロアブル																											
ロムダンフロアブル																											
アクセルフロアブル																											

<p>ハスモンヨトウ</p>	<p>グレースシア乳剤 コテツフロアブル トルネードエースDF プレオフロアブル</p>																									
<p>センチュウ類</p>	<p>・ 共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照する。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 下記薬剤を処理する。</p> <table border="1" data-bbox="359 465 1120 931"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DC油剤/D-D/テロン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バイデートL粒剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ネマキック粒剤</td> <td>ネグサレセンチュウのみ登録</td> </tr> <tr> <td>石灰窒素50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石灰窒素55</td> <td></td> </tr> <tr> <td>粒状石灰窒素55</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カルメート55</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カルメート60</td> <td></td> </tr> <tr> <td>粒状石灰窒素40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>粒状石灰窒素</td> <td>ネコブセンチュウのみ登録</td> </tr> <tr> <td>石灰窒素50防散</td> <td>ネコブセンチュウのみ登録</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	備考	DC油剤/D-D/テロン		バイデートL粒剤		ネマキック粒剤	ネグサレセンチュウのみ登録	石灰窒素50		石灰窒素55		粒状石灰窒素55		カルメート55		カルメート60		粒状石灰窒素40		粒状石灰窒素	ネコブセンチュウのみ登録	石灰窒素50防散	ネコブセンチュウのみ登録	<p>○ キタネグサレセンチュウはレタスへの実害は少ないが、増殖率が高いので後作作物の選定に注意する。</p>
薬剤名	備考																									
DC油剤/D-D/テロン																										
バイデートL粒剤																										
ネマキック粒剤	ネグサレセンチュウのみ登録																									
石灰窒素50																										
石灰窒素55																										
粒状石灰窒素55																										
カルメート55																										
カルメート60																										
粒状石灰窒素40																										
粒状石灰窒素	ネコブセンチュウのみ登録																									
石灰窒素50防散	ネコブセンチュウのみ登録																									
<p>ナメクジ類</p>	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 野菜くずの捨て場等の発生源を除去する。 ほ場の通風や排水を良好にし、地表部を乾燥させる。 農作物の過繁茂を避け、収穫後の畑はできるだけ早期に整理する。 畑周辺の小かん木、小竹などの茂みを伐採整理し、不必要な石積等は取り除く。 畑周辺の清掃を図った上で、潜伏場所となるような濡れむしろ等を設置し、誘引捕殺する。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 下記薬剤のいずれかを散布する。粒剤は雨が降ると有効成分が流亡してしまうので、天候を見極めて活動直前の夕刻に処理する。ハウスや温室内では、2～3日間はかん水がかからないようにする。残効期間は短い。</p> <table border="1" data-bbox="359 1413 742 1572"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ナメククリーン3</td> </tr> <tr> <td>バダンSG水溶剤</td> </tr> <tr> <td>ランネート45DF</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	ナメククリーン3	バダンSG水溶剤	ランネート45DF	<p>○ ランネートは吸入毒性が強いため必ずマスクを着用する。施設内では絶対に使用しない。</p>																				
薬剤名																										
ナメククリーン3																										
バダンSG水溶剤																										
ランネート45DF																										